

ドラマチックな観光イベントを



地域の歴史や文化に 触れあう観光の仕組み創り

太田 薫 議員

新しいイベントを計画したいと協議中である。

これからの観光は単に見る観光から、そこにドラマ性、物語を描くことも重要である。

遊佐町の豊かな自然、歴史、文化に価値を見いだし、新たな観光素材として発掘し、物語を描きながら地元の人たちが案内人となり、観光客と触れあい、地域の歴史、文化と親しむ観光の仕組みを創りだしたい。

問 十年間続いた三崎山国盗り合戦がなくなつてから四年目になる。

集客面・費用対効果・話題性どれをとっても優良なドラマチックなイベントであった。その後が始まった「来い恋遊佐さん」などもこだわりをもった楽しいイベントである。このような、イベントのドラマチックな部分は、そこに住む人の生き様の現れのようなものであり、それを見るのが実に楽しい。

観光もおそらくそういう探訪であろうと考える。観光都市を目指す我が遊佐町はさら

なる物語を書いていけるか。

町長 三崎山国盗り合戦は旧象潟町との友好交流イベントとして、両町のイメージアップ、観光客の誘致拡大、知名度アップにも大いに貢献できたが、市町合併計画や十回大会の区切りをもって終了したものである。

その後、新にかほ市との交流でも環鳥海の共通観光素材を結びつけ、



遊佐恋観音(上寺)